

地球温暖化とその対応

村上 嘉男

今年の夏は異常に暑い日が続き、今までの最高気温 40.8 を超えて 40.9 の新記録となり、さらに悪いことには 7 月の新潟県柏崎地方の大地震により、柏崎原子力発電所の発電停止に伴い東京電力管内の供給電力は能力限度すれすれにまで達した。

20 世紀の 100 年間で日本の平均気温は約 1 上昇した、特に都市部ではヒートアイランド現象の影響も加わり東京では 2.9 上昇している。また真夏日、熱帯夜の日数も都市部を中心に増加、真冬日の日数は減少した。

海水位の変化は 1970～2003 年において、日本沿岸では年間 2 mm 程度海面が上昇している。

降水量の変化としては地域によってばらつきがあるが、時間降水量 50 mm を超える大雨の発生回数はやや増加傾向にあり、降雪量は一部の地域において減少している。

グローバルにみると北極及び南極の氷山は小さくなり、グリーンランドでは今までの半島が付け根の部分の氷が溶け、島になってしまったところがあるようである。

赤道直下東経 172 度にある人口 10 万弱の島国キリバスは 33 の環礁からなりその殆どが海拔 3.5m 以下、最近は大潮の満潮時、軒先まで海水に浸るようで、その為国連の気候変動に関する評価報告書によると今世紀末に世界の平均海面水位が最大 59 cm 上昇するというのを根拠に大統領が「我が国は早晚、海に沈むだろうと明言」国民 10 万人の脱出計画をたてている。

1997 年京都で開かれた「第 3 回気候変動枠組条約締結国会議」いわゆる京都議定書では温暖化ガス排出削減目標が設定され全体では 5.2% の削減であるが、日本は 6%、EU は 8% の削減目標に対し米国とオーストラリアは批准していない。

省エネルギー対策として有効なソーラー発電は設置費用も徐々に下がりつつあり当初 100 万円/KW であった設置費用が最近では 70 万円以下に下がり、ちかじかには 50 万円程度になると言われている。

地方公共団体の「太陽光発電システム補助事業」としては各自治体もそれぞれの補助金を予算化しているが、横浜市に於いて H19 年度は 3 万円/KW 上限 12 万円と設定され、本年度 400 件募集のところ 8/27 現在 197 件受け付けている。

温暖化の原因となる二酸化炭素 CO₂ の発生を抑えるため、東京都では CO₂ の削減値に応じて中小企業が資金を低利で調達できる制度を 11 月からスタートさせる。

今回中小企業が都の定めた CO₂ の削減値以上の目標を立てれば一般投資家に販売する社債担保証券を都が無利子で買取り、社債発行に伴う企業側の金利負担を軽減する仕組みで、削減の方法についても支援をするようである。